

京都市 市民参加推進計画

[改訂版]



平成18年(2006年)12月

京都市



京都市市民参加推進計画の改訂に当たって

京都市長 ますもとよりかね
梶野 頼業

私は、市長就任以来、市民の皆様との信頼とパートナーシップを基本に据え、本市の市政運営に取り組んで参りました。そして、平成13年12月に策定致しました「京都市市民参加推進計画」や平成15年8月から施行致しました「京都市市民参加推進条例」に基づき、すべての市民の皆様が地域社会の一員として市政に積極的に御参加いただけるよう、様々な施策・事業を総合的、体系的に実施してきたところです。この度、「京都市市民参加推進計画」が計画期間の中間年である5年目を迎えることを受けて、これまでの本市の取組や現在の社会状況などを踏まえ、更なる市民参加の推進に向け、計画の改訂を行いました。

この「京都市市民参加推進計画（改訂版）」は、1年以上にわたる熱心な御議論を踏まえて京都市市民参加推進フォーラムから御提案いただいた「市民参加こんなんえーやん宣言！」や、パブリック・コメント等を通じて得られた市民の皆様からの貴重な御意見を十分に踏まえながら、「市民の目線」に立って見直したものであり、市民の皆様との協働による個性豊かなまちづくりをより一層充実させていくうえでの「道しるべ」と言えます。

私たちのまち、京都は、1200年を超える悠久の歴史に生まれ、日本の伝統・文化が生き続ける、世界でも稀有の歴史都市として、また、「自治の精神」の息づくまちとして発展して参りました。

しかしながら、少子高齢化の進行、環境問題の深刻化や子どもを取り巻く凶悪な犯罪の増加など、近年の社会状況の変化により、豊かで安心して暮らせる京都のまちを実現するためには、これまで以上に市民の皆様と行政とが知恵と力を出し合い、共に手を携えて課題解決に取り組むことが必要となってきております。

このため、私は、今回改訂致しました計画を着実に推進することで、「京都をより良いまちにしたい」という市民の皆様の思いをしっかりと受け止めながら、市民参加で創る「豊かで活力ある地域社会の実現」に向けて全力を傾注して参る所存でございますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この計画の改訂に当たりまして多大の御尽力を賜りました、京都市市民参加推進フォーラムの委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただきました市民の皆様に対しまして、心から御礼申し上げます。

京都市市民参加推進計画 (改訂版)

目次

第1章 はじめに	1
1 改訂の趣旨	1
2 計画の位置付け及び計画期間	1
第2章 これまでの取組	2
1 本市のこれまでの市民参加の取組と社会状況	2
（1）市民参加推進計画の取組状況	2
（2）更なる市民の自主的なまちづくり活動の広がり	3
（3）情報通信技術の更なる発達・進展	4
（4）市民参加の取組に対する市民の実感	5
2 京都市市民参加推進フォーラムからの提案	6
第3章 計画の考え方	7
第4章 推進施策及び実施事業	9
1 市政運営の各過程における参加の制度や仕組みの拡充に向けた取組	9
（1）市民ニーズを把握し、政策・施策に結びつける 仕組みの拡充	9
（2）より参加しやすい審議会等の運営の促進	11
（3）市政運営の各過程での参加の仕組みの拡充	12
2 地域における市民主体のまちづくり活動とその支援	15
（1）自主的な活動を始める手がかりの提供	15
（2）市民力・地域力を高める取組への支援	17
（3）地域における多様な活動主体の相互の交流・連携の促進	19
3 情報の提供・公開と共有	21
（1）情報提供・公開における手法の充実	21
（2）市民の目線、動線に沿った情報提供の取組の充実	23
（3）情報を共有する取組の充実	24
第5章 計画を着実に進めるために	25
参考資料	
・「市民参加こんな宣言！～京都市市民 参加推進フォーラムからの提案～」の主な活用状況	27
・「市民参加推進計画（中間見直し素案）」に対する パブリック・コメントと本市の見解	30
・「市民参加推進計画（改訂版）」の概要	35
・市民参加関係施策の経緯	37
・京都市市民参加推進条例	39